

4. 授業展開例

1. 高等学校における消費者教育の指導計画例

(1) 指導計画作成にあたって

共通教科「家庭」は、高等学校学習指導要領において、生徒が自分の生活に結び付けて学習できるよう、問題解決的な学習を充実することが示されています。消費者教育に関しては、社会において主体的に生きる消費者を育む観点から、消費の在り方及び資源や環境に配慮したライフスタイルの確立を目指した指導の充実が求められています。

高等学校の家庭では、共通教科「家庭」の「家庭基礎」、「家庭総合」の科目及び専門教科「家庭」の「消費生活」において、契約、ローン、クレジットなどの消費者信用、多重債務問題等について具体的に扱っています。

また、平成30年改訂の高等学校学習指導要領では成年年齢の引下げを踏まえ、契約の重要性や消費者保護の充実を図るとともに、自立した消費者として、意思決定に基づいた消費行動をすることが示されています。指導にあたっては、売買契約の他にも多様な契約があること、未成年・成年の法律上の違い（未成年者取消権の有無）や消費者被害の未然防止の重要性が理解できるよう、展開することが重要です。

指導計画の作成にあたっては、中学校技術・家庭科、公民科、数学科、理科及び保健体育科などとの関連を図るとともに、他の内容と関連付けて指導するなど、限られた単位数の中で効果的に学習できるように作成する必要があります。また、具体的な事例をはじめ実験・実習などの実践的・体験的な学習や問題解決的な学習を通して理解させるよう工夫することも大切です。

学校によって、科目の設置は異なりますが、生徒の実態に応じて本Web版教材を活用してください。

(2) 学習活動の工夫

高等学校の家庭科における消費者教育は、生涯を見通した家計管理、リスク管理を考え、消費者として主体的に判断し行動できる自立した消費者を目指しています。今日の家計は、クレジットカードや電子マネーの普及などキャッシュレス化によって大きく変化しており、情報が氾濫する中で慎重な意思決定が求められています。

指導にあたっては、クレジットカードの作成や買い物の疑似体験、シミュレーションソフトを利用したりポ払いの利息計算など、具体的な事例を取り入れた学習が有効です。事例を通して、自分のこととして捉えることで、クレジットカードのメリット・デメリットやキャッシュレス社会が家計にもたらす利便性・問題点について、理解が深まります。

また、課題解決を図るために必要な思考力、判断力、表現力等を育むために、生徒が自分でまとめた事柄などについて説明したり、相手の立場や考えをお互いに尊重して話し合ったりするなど「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、より深く学ぶ工夫や、論述、討論、発表等の言語活動の充実を図った学習活動を展開することが重要です。

ワークシートの作成にあたっては、生徒の記述内容から「知識及び技能」を評価するだけでなく、「思考力・判断力・表現力等」も評価できるよう設問を工夫することも必要です。振り返りやまとめについては、生徒の実態に合わせて指導することで、学習の定着を図ることができます。

消費者教育で学ぶ内容は、生徒自身が経験していないことが多く、自分事として捉えにくいのですが、卒業してから役立つ学習が多いため、自分にも起こり得ることを自覚させることが重要です。したがって、身近な事例をあげたり、視覚的教材を活用したり、ロールプレイをしたりするなど、主体的に取り組む姿勢を育成していくことが大切です。

(3) 高等学校「家庭」における消費生活にかかわる内容と本教材の活用例

(新学習指導要領「家庭総合」を基に作成)

| 内容C 持続可能な消費生活・環境 | | 時間 | | 本Web版教材を使用した授業 | | | |
|---------------------|-----------------|----|---|---|---|---|---|
| | | | | ステージ1 | ステージ2 | ステージ3 | 番外編 |
| | | | | クレジットカードを作ってみよう | クレジットカードで買い物してみよう | クレジットカードは計画的に利用しよう | 18歳は大人?大人になるってどんなこと? |
| | | | | 学習項目(キーワード) | | | |
| (1) 生活における経済の計画 | ・家計の構造 | 1 | 1 | | | ・収入と支出 | |
| | ・生活における経済の管理・計画 | 2 | 1 | | | ・給与明細の見方 | |
| | | | 1 | | | ・ローン、クレジットのキャッシング機能 ・元利均等払い ・キャッシュレス化による金銭管理(信用を築くことの大切さ) | |
| ・生活における経済と社会の関わり | 1 | 1 | | | | | |
| (2) 消費行動と意思決定 | ・契約の重要性 | 5 | 2 | ・クレジットカードと契約 ・消費者信用 ・クレジットカードの仕組み | ・ネットショッピング利用時の注意事項 ・クレジットカードのトラブルと規約 | | ・契約の基本 ・消費者保護の制度 ・クーリング・オフ ・通信販売と返品特約 ・取消しと無効 |
| | ・消費行動における意思決定 | | 2 | ・店舗販売、無店舗販売 ・多様化する支払方法と様々なカード ・クレジットカードの利用と管理 | ・クレジットカードの支払方法(分割払い、リボルビング払い) ・ネットショッピング利用時の注意事項 | ・利息の計算方法 ・信用情報機関 | |
| | ・消費生活の現状と課題 | 1 | | ・クレジットカードのトラブルと規約 | ・多重債務と債務整理 | ・事業者と消費者の構造的な格差 ・問題商法(キャッチセールス) | |
| | ・消費者の権利と責任 | 1 | 1 | | | | |
| (3) 持続可能なライフスタイルと環境 | ・生活と環境の関わり | 4 | 2 | | | | |
| | ・持続可能な社会 | | 2 | | | | |

(4) 新学習指導要領で充実された消費者教育の内容

◆ 小学校、中学校、高等学校「家庭科」の系統的な消費者教育

今回の改訂において、小学校「家庭科」では、現行の消費者教育に関する内容に加え「買い物の仕組み、売買契約の基礎」、「物や金銭の使い方と買い物について、消費者の役割が分かること」、中学校「技術・家庭科」では「購入方法や支払方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、三者間契約」、「自立した消費者としての責任ある消費行動」の内容などが新たに追加されました。

高等学校の「家庭基礎」「家庭総合」では、小・中・高校での系統性や成年年齢引下げを踏まえ、学習内容C「持続可能な消費生活・環境」として新たに位置付けられ、「契約の重要性、消費者保護の仕組み」などが追加されました。成年となる18歳までに、より実践的な学習を通して、消費者としての自覚が身に付く消費者教育の充実を図っていきます。

◆ 学校組織としての消費者教育

今回の改訂を踏まえ、社会科、家庭科の教科だけではなく、「総合的な探究の時間」や東京都立高校独自教科「人間と社会」などの教科横断的な科目や、学校の教育活動全体を通して、組織的に消費者教育に取り組むことが重要となってきます。その際は、児童生徒が自らのことと捉え、主体的に取り組めるように、学校の実態や児童生徒の発達段階に合わせて、DVDによる視覚的教材や外部講師を活用し、具体的な事例に触れることも有効です。

2.Web版消費者教育読本を活用した授業展開例及びワークシート

(1) スタンダード版

授業展開例① ステージ1 「クレジットカードを作ってみよう」

- 題材名 クレジットカードと契約
- 題材の目標 ・ クレジットカードの仕組みと特徴を理解する。
 ・ 契約の基礎知識を踏まえ、クレジットカードの会員規約をよく読み、規約を守ることの大切さを理解する。

● 学習指導過程

| 時 間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・資料 |
|------------------|--|---|---|
| 導 入 5分 | ● 自分や家族の持っているカードを話し合う。 | ・ 身の回りにあるカードを答えさせ、支払いに使用できるカードとそうでないカードの種類を確認させる。 | |
| 展開 I 20分 | ● Web 版読本で「クレジットカードを作成する場面」を疑似体験する。 ● Web 版読本で「クレジットカードが発行されるまで」の流れを確認する。 | ・ 契約の基礎知識を伝える。 ・ 販売方法や支払方法の多様化により、契約が複雑化している現状を伝える。 ・ 支払いに使用できるカードの機能を説明し、クレジットカードは他のカードと違い、「信用」がないと持つことができないことを伝える。 ・ 身近な例や、クレジットカードを利用する機会が増えている背景を説明し、クレジットカードを利用する際の利点と急激に普及している理由について、考えさせる。 ・ クレジットカードが発行されるまでの流れとクレジットカードの仕組みについて理解させる。 ・ クレジットカードを利用する場合、クレジット会社に借金をして商品等を購入することになるため、経済的に信用のある人だけがクレジットカードを持てることを伝える。 | ワークシート① ・ 契約の基礎知識 ・ 販売方法の多様化 ・ 支払方法の多様化 ・ クレジットカードのメリットを考えよう 指導者用パワーポイント資料 ワークシート① ・ クレジットカードの仕組み 指導者用パワーポイント資料 |
| 展開 II 15分 | ● Web 版読本で「クレジットカード〇×クイズ」に挑戦する。 ● Web 版読本で「クレジットカード申込書」を確認する。 | ・ 「〇〇カード会員規約」の画面から情報を集め、クイズに挑戦させる。 ・ 会員規約の内容が契約の内容であること、規約を守ることの大切さを理解させる。 ・ クレジットカードの申込用紙を見せ、氏名や電話番号のほかにも、収入や借り入れなどの個人情報を記入する項目があること、正しい内容を記入することを確認させる。 | ワークシート① ・ クイズに挑戦 指導者用パワーポイント資料 |
| まとめ 5分 | ● 学習内容をワークシートにまとめ、発問に答える。 | ・ 契約の基礎知識、クレジットカードの仕組み、会員規約を守ることの大切さについて理解したかどうか、発問する。 | ワークシート① ・ まとめ |

ワークシート解答例

※生徒用及び解答付ワークシート（エクセル）は Web サイトからダウンロードできます。先生用ページ「教材紹介」からご覧ください。

ワークシート① クレジットカードを作ってみよう

【契約の基礎知識】

- ・契約は、法的な（拘束力）が発生する約束事である。
- ・契約は、（申し込み）と（承諾）というお互いの（意思表示）が合致した時点で成立する。
- ・契約の方式は自由で、（口頭）でも契約は成立する。

【販売方法の多様化】

- ・（店舗）販売・・・小売店、専門店、デパート、スーパーマーケット、コンビニエンスストアなど
- ・（無店舗）販売・・・（ネットショッピング）、カタログ販売、訪問販売、電話勧誘販売など

【支払方法の多様化】 支払いに使用できるカードには、どのような支払方法があるのかを考え、それぞれの機能をまとめてみよう。

| 支払方法 | カードの種類 | 機能 |
|---------|----------|--------------------------------------|
| 前払い | プリペイドカード | 事前にお金を支払って、カードに登録された金額まで買い物などに利用できる。 |
| 即時払い | デビットカード | カード利用と同時に代金が銀行口座から引き落とされる。 |
| 後払い | クレジットカード | 買い物の後に代金が銀行口座から引き落とされる。 |
| 現金を引き出す | キャッシュカード | ATMで銀行口座からお金を引き出す。 |
| | ローンカード | ATMで銀行口座からお金を借りる。 |

【クレジットカードのメリットを考えよう】

- ①（現金）を持っていないなくても買い物ができる。
- ②（後）で支払うことができる。
- ③（分割して）支払うことができる。
- ④（海外）でも買い物ができる。

【クレジットカードの仕組み】



- ・クレジットカードの契約は、消費者、販売店及びクレジット会社による（三者間）契約である。それぞれに（メリット）があるから成り立っている。
- ・クレジットとは（信用）という意味である。
- ・クレジット会社は（必ず支払いができる）と認めた人だけが会員契約をし、クレジットカードを発行する。
- ・クレジットカードによる支払いは、クレジット会社への（借金）である。

【クイズに挑戦】 会員規約からヒントを探して、クイズの答えと理由を考えてみよう。

第1問：収入があれば誰でもクレジットカードを持つことができる。

○か×か？ 自分の答え 正解（ × ）

◆ヒント：規約第1条

理由：例）第1条の会員資格に「本規約を承認のうえ〇〇カード株式会社が発行するクレジットカードの入会申込をした個人のうち、当社が入会を認めた方」と書かれているから（もしくは、クレジットカードの入会申込をした個人のうち、クレジット会社が入会を認めた人しかクレジットカードを持つことができないから）。

第2問：クレジットカードの所有権は、クレジット会社にある。

○か×か？ 自分の答え 正解（ ○ ）

◆ヒント：規約第4条1項、2項、第11条

理由：例）第4条のカードの貸与・有効期限に「当社は、入会申込時に会員が指定したカードを、会員1名につき1枚発行し、貸与する。」「カードの所有権は当社に属し、会員本人以外は使用できない」と書かれているから（もしくはクレジットカードの所有権はクレジット会社にあり、会員に貸与すると書かれているから）。

第3問：暗証番号は4ケタの数字であれば何でも構わない。

○か×か？ 自分の答え 正解（ × ）

◆ヒント：規約第5条2項、3項

理由：例）第5条の暗証番号に「届出の暗証番号は、他人に容易に推測されないような数字（例えば、「0000」、「1234」および生年月日、電話番号、自宅の番地等はお避けください）の組み合わせを使用するとともに、他人に知られることのないよう会員が善良なる管理者の注意をもって管理するものとします。」と書かれているから（もしくは暗証番号は他人に推測されないような数字を設定して、誰にも教えてはいけないことになっているから）。

【まとめ】 クレジットカードを使うときに注意することをまとめてみよう。

例）

契約とは法律上の約束事であったり、内容を守らなければならないことがあった。現在は現金以外のお金の代わりをするカードがたくさんあることが分かった。クレジットは信用という意味で、クレジットカードは経済的に信用のある人だけが持っていることが分かった。クレジットカードは便利だが、借金をして物を買うことが分かった。クレジットカードは自分のものではないので、管理をしっかりとしないといけないと思った。クレジットカードの会員規約は契約に関わるので、その内容を守ることが大切だと思った。

授業展開例② ステージ2 「クレジットカードで買い物をしてみよう」

●題材名 クレジットカードの支払方法、ネットショッピングとクレジットカード利用時の注意事項

●題材の目標

- ・クレジットカードの支払方法の種類と特徴を知り、自分に合った使い方について考える。
- ・クレジットカード使用時の注意事項を知り、実生活に役立つ力を身に付ける。

●学習指導過程

| 時間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・資料 |
|------------|---|---|--|
| 導入 5分 | ●前回の授業内容を理解しているか確認する。 | ・契約の基礎知識、クレジットカードの使い方について復習させる。 | |
| 展開Ⅰ 15分 | ●Web版読本で「クレジットカードを使ったネットショッピング」を疑似体験する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードの主な支払方法である「一括払い」「分割払い」「リボ払い」の違いを理解させる。 ・「分割払い」「リボ払い」については、利息計算用プログラム（エクセル）を使い、手数料と支払総額をシミュレーションさせ、ワークシートに記入させる。 ・3つの支払方法のメリット・デメリットを考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシート② ・クレジットカードの支払方法 ・分割払い、リボ払いの手数料をシミュレーションしてみよう ・一括払い、分割払い、リボ払いのメリット、デメリットを書いてみよう 指導者用パワーポイント資料 |
| 展開Ⅱ 10分 | ●Web版読本で「ネットショッピング〇×クイズ」に挑戦する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・クイズの答えを解説し、ネットショッピング利用時の注意点を確認させる。実際、利用したことのある生徒に対して、不安な点などがあつたかどうか発問する。 ・ネットショッピングを賢く利用するポイントについて確認させる。 ①信頼できる事業者かどうか確認する。 ②ネットショッピングではクーリング・オフ制度がないため、返品特約などの表示をよく読む。 ③サイトの安全性（SSLなど）を確認する。 ④契約内容は保管する。 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシート② ・クイズに挑戦 ・ネットショッピングを利用する時に気を付けることをまとめてみよう 指導者用パワーポイント資料 |
| 展開Ⅲ 10分 | ●Web版読本で「こんなときどうする？クレジットカードトラブル」に挑戦する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3つのトラブル事例（漫画）について会員規約から根拠を探し、答えと理由、そこから気付いたことをワークシートに記入させる。 ・ワークシートの記述内容を発表させ、発表内容を整理し、解説する。 ・トラブルを防ぐためのポイントを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシート② ・事例ワーク 指導者用パワーポイント資料 |
| まとめ 5分 | ●学習内容をワークシートにまとめ、発問に答える。 | ・クレジットカードの支払方法、ネットショッピング及びクレジットカード利用時の注意点について理解したかどうか、発問する。 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシート② ・まとめ |

ワークシート解答例

※生徒用及び解答付ワークシート（エクセル）はWebサイトからダウンロードできます。先生用ページ「教材紹介」からご覧ください。

【ネットショッピングを利用する時に気を付けることをまとめてみよう】

例)

- ・通信販売の場合、返品・交換できるかはサイトによって異なるため、申込時には、商品の表示（材質、サイズ、数量など）や購入条件（納期、支払方法、送料、支払手数料、返品条件）を確認してから申し込む。
- ・そのサイトがSSL（情報の暗号化）や3Dセキュア（本人認証システム）などの安全対策をとっているかを確認する。
- ・一般に流通している価格よりも大幅に安く販売されていないか、商品が模倣品でないか注意する。
- ・所在地、代表者名、電話番号等の記載があるか、他の利用者の評価など事業者の情報をしっかり確認する。
- ・申し込み画面や契約確認の受注メールなどは、必ず保管する。

【事例1】 次のトラブルに巻き込まれた場合、どうしたらよいか考えてみよう。
会員登録の画面から情報を集め、自分で回答を考えて発表しよう。



＜事例1＞先輩から「財布を忘れたので、悪いけどクレジットカードを買ってくれませんか？後でお金は払うから。」と言われて、断りきれずクレジットカードを買った。ところが先輩から「ごめん、クレジットカードをなくしちゃった。」と言われた。あわててクレジットカード会社と警察に紛失届を出したが、後日先輩も使った覚えがない20万円の請求が来た。クレジットカード会社に連絡すれば、この20万円は支払わなくてもよいか。

どちらかに○を付けよう
理由 ◆ヒント 会員規約第4条

例) 会員規約でクレジットカードを他人に貸して不正利用されても支払責任を負うことになっているから。



＜事例2＞財布の中にクレジットカードがないことに気付いた。クレジットカード会社に連絡したが見つからなかった。使った覚えのない30万円の請求が来たが、私は支払わなくてもよいか。

どちらかに○を付けよう
理由 ◆ヒント 会員規約第8条

例) 警察に連絡していなかったため、クレジットカードの補償の条件を満たさないから。



＜事例3＞リボ払いで注文した6万円のスマホが催促しているにもかかわらず3週間経っても届かない。クレジットカード会社から請求書が届いたが、所定の手続きをすれば私は注文した商品が届くまで支払いをストップすることができるか。

どちらかに○を付けよう
理由 ◆ヒント 会員規約第13条

例) この場合は、クレジットカード会社に「商品が届くまで、私は代金を支払わない」と主張することができるから。

【まとめ】 クレジットカードのトラブルを防ぐために気を付けることをまとめよう。

例) クレジットカードを受け取ったら裏面にすぐサインする。クレジットカードは他人に貸してはいけない。暗証番号は誰にも教えない。クレジットカードを紛失したら盗難に遭ったら、クレジットカード会社と警察にすぐに連絡する。利用明細書は必ず確認し、身に覚えのない請求は、クレジットカード会社にすぐに連絡する。

ワークシート② クレジットカードで買い物をしてみよう

【クレジットカードの支払方法】

| 種類 | 支払方法 | 手数料 |
|----------------------|--|---------|
| 一括払い | 1回払い、ボーナス10回払いなど | かからない |
| 分割払い | 購入の都度（支払回数）を決めて支払う 3/6/10/12/24/36回払いなど | （ かかる ） |
| リボ払い （「リボ払い」ともいう） | 毎月（一定額）・（一定率）で支払う | （ かかる ） |

- ・クレジットカードの支払方法は主に（ 3 ）通りある。
- ・（ 分割 ）払い、（ リボ ）払いなど、分割して代金を支払う場合は手数料がかかる。
- ・カードショッピングの手数料とは（ 利息 ）のことで、お金のレンタル料である。

【分割払い、リボ払いの手数料をシミュレーションしてみよう】

今月6万円のスマホを買い、翌月3万円の洋服を買った場合の比較表（○○カード会社の場合）

| 種類 | 条件 | 支払時期 | 手数料 | 支払総額 |
|----------------------|----------------|---------|--------|---------|
| 一括払い | 翌月一括払い | 名購入月の翌月 | 0円 | 90,000円 |
| 分割払い | スノボ6回払い、洋服3回払い | 6か月後 | 2,466円 | 92,466円 |
| リボ払い （「リボ払い」ともいう） | 毎月1万円、元利均等払い | 10か月後 | 5,618円 | 95,618円 |

【一括払い、分割払い、リボ払いのメリット、デメリットを書いてみよう】

| 種類 | メリット | デメリット |
|------|-----------------------------------|---|
| 一括払い | 手数料がからない。 | 高額な買い物では、一度に支払えるか心配な場合もある。 |
| 分割払い | 1回当たりの支払額を抑えることができるので、高額な買い物もできる。 | 手数料がかかる。買い物が増えると、1回当たりの支払額が多くなる。支払回数は途中で変更できない。 |
| リボ払い | 毎月支払額が一定なので家計管理がしやすい。 | 手数料がかかる。支払いが増えるほど支払回数が増え、手数料の負担も重くなる。支払終了時期が分かりにくい。 |

【クイズに挑戦】 ネットショッピング〇×クイズに答えて、その理由を考えてみよう。

第1問：検索サイトで上位にランキングされる事業者のサイトは、人気があるので信用できる。

○か×か？ 自分の答え 正解（ × ）

理由：例) インターネット上のWebサイトは、サイト制作の技術さえあれば匿名な会社と同じようなものを作ることができる。日本語で表示されているからといって国内の事業者とは限らず、検索サイトで上位に表示されているからといって信用できるかどうかを判断することは難しい。

第2問：ネットショッピングで購入した商品には、法律上のクーリング・オフ制度はない。

○か×か？ 自分の答え 正解（ ○ ）

理由：例) クーリング・オフ制度とは、一定期間内であれば、消費者から一方的に契約を解除できる制度。ただし、店舗販売や通信販売には、クーリング・オフは適用されない。

第3問：クレジットカード番号を入力する際は、そのサイトが安全対策をとっているかどうか確認する。

○か×か？ 自分の答え 正解（ ○ ）

理由：例) インターネットはオープンなネットワークなので、データを送受信する経路で盗み見られたり、改ざんされたりする恐れがある。そのため、そのサイトがSSL（情報の暗号化）や3Dセキュア（本人認証システム）などの対策をとっているか確認し、クレジットカード番号の情報を不正利用されないようにする。

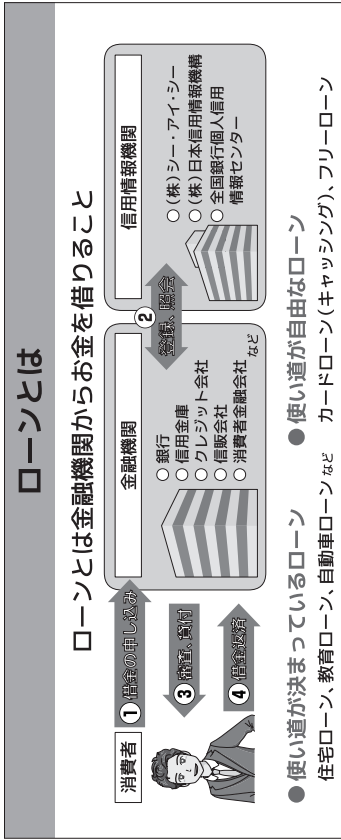
授業展開例③ ステージ3 「クレジットカードは計画的に利用しよう」

- 題材名 キャッシュレス化に伴う金銭管理
- 題材の目標 ・クレジットカードの使い過ぎによるトラブル事例、リボ払いの注意点、手数料（利息）の計算方法について理解する。
 ・万一、多重債務に陥った場合の対処方法について理解する。
 ・クレジットカードは計画的に利用することが大切であることを理解する。

● 学習指導過程

| 時 間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・資料 |
|----------------|--|---|---|
| 導 入 5分 | ● 前回の授業内容を理解しているか確認する。 | ・クレジットカードの支払方法、ネットショッピングでクレジットカードを使用する際の注意点について理解したか確認する。 | |
| 展開Ⅰ 15分 | ● Web 版読本で「クレジットカードで買い物をし過ぎた場合」を疑似体験する。 | ・利息計算に必要な用語と、利息の計算方法について理解させる。 ・金利や月々の支払額によって、利息と支払総額が変わることを理解させる。 ・お金を借りる時は、金利と支払総額を確認することが大切であることを伝える。 | ワークシート③ ・利息の計算方法 ・利息を計算してみよう ・「利息計算用プログラム」に条件を入力し、利息と支払総額を記入しよう 指導者用資料パワーポイント |
| 展開Ⅱ 10分 | ● Web 版読本で「多重債務に陥る場面」を疑似体験する。 ● 万一、多重債務に陥ってしまったときの対処法を知る。 | ・「ローン」「クレジットカードのキャッシング機能」とは何かを解説する。 ・キャッシング機能は簡単に借りられる反面、借り過ぎに注意が必要であることを理解させる。 ・多重債務とはどのようなことか理解させる。 ・借金返済のために借金をすると、利息が雪だるま式に増えてますます返済困難に陥ることを理解させる。 ・多重債務には「債務整理」という救済措置があることを伝える。 ・万一の場合、一人で悩まず消費生活センターへ相談することを促す。 | ワークシート③ ・ローン・クレジットカードのキャッシング機能とは ・ローン・キャッシングの注意点 ・ローンやキャッシングを利用する時に注意することをまとめてみよう 指導者用パワーポイント資料 |
| 展開Ⅲ 10分 | ● Web 版読本で「信用情報機関の場面」を確認する。 | ・信用情報機関は、クレジットカードやローンの契約内容、支払履歴を収集しており、金融機関は契約者の情報を信用情報機関に提供・照会し、返済できるという信用があるかどうかを調査していることを解説する。 ・クレジットカードやローンを利用する際は、計画的に利用することが大切であることを理解させる。 | ワークシート③ ・信用は築くもの 指導者用パワーポイント資料 |
| まとめ 5分 | ● 学習内容をワークシートにまとめ、発問に答える。 | ・利息の意味、多重債務とその対処法、クレジットカードやローンを計画的に利用することの大切さについて理解できたか、発問する。 | ワークシート③ ・まとめ |

【ローン・クレジットカードのキャッシング機能とは】



- ・ローンは（金融機関）からお金を借りることをいう。
例：（教育）ローン、（住宅）ローン など
- ・クレジットカードには買い物だけでなく、お金を借りる機能もついている。
これを（キャッシング）機能という。
- 【ローン・キャッシングの注意点】
- ・キャッシングは、ATMから簡単にお金が借りられる反面（借り過ぎ）に注意が必要。
- ・借金返済のために、A社、B社、C社へと新たな借金を繰り返す、返済困難な状況に陥ることを（多重債務）という。
- ・返済能力を起え、借金返済ができない場合は経済的な立ち直りを図る（債務整理）という方法がある。具体的には任意整理、特定調停、個人再生手続き、（自己破産）がある。
- ・万一の場合、一人で悩まず（消費生活センター）へ相談する。

【ローンやキャッシングを利用する時に注意することをまとめてみよう】

例) クレジットカードやローンを利用する前に、本当に必要かどうかよく考える。
買いたいものがあるときは、まず貯蓄をすることで、借りる金額を最小限にする。
返済の見込みがない借金はしない。
クレジットカードやローンで支払う分は先に分けて管理する。

【信用は築くもの】

- ・信用情報機関とは、クレジットやローンなどの（契約内容）や（支払状況）を一括管理している。
- ・金融機関は、契約者の信用情報を信用情報機関に（提供）し、（照会）し、信用を調査している。
- ・支払の（延滞）が続くとその情報が金融機関で共有され、新たにクレジットカードを作るときや住宅ローンなどでお金を借りるときに（審査）が通らないこともある。

【まとめ】この学習全体を通して、あなたの意見が変わったところはどのようなところですか。

例) リボ払いはテレビや広告でよく見かけるので簡単に利用できるかと思っていましたが、利率が高いことを知った。クレジットカードを利用するときは、利率がいくらかかるか調べてから利用しないといけないと思った。支払の延滞で、いざ住宅ローンを借りたいと思っても利用できないことがあることを知った。クレジットカードやローンを利用する前に、本当に必要かどうか考えたいと思う。

ワークシート③ クレジットカードは計画的に利用しよう

【利息の計算方法】

- ・利息の計算方法は（元金）×（金利）×（期間）
- ・元金とは（借りた）お金。
- ・金利とは元金に対する一定期間の（利息）の割合。

【利息を計算してみよう】

50万円を年利15%で借りるとき、利息はいくら？

① 1年後に支払う利息は $50万円 \times 15\% = (75,000) 円$

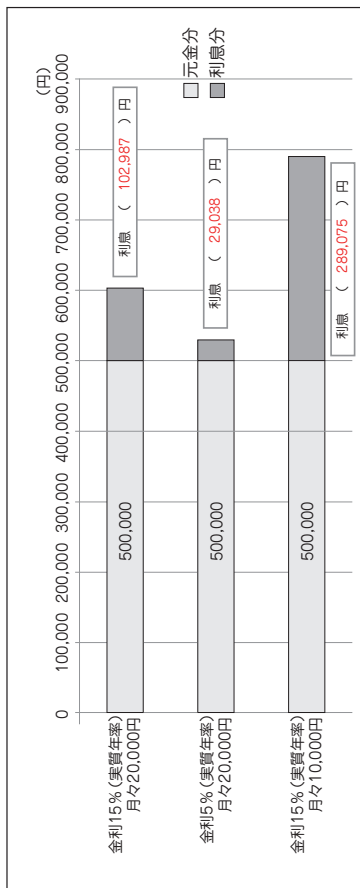
② 1か月後に支払う利息は $50万円 \times 15\% \div 12 = (6,250) 円$

③ 1日後に支払う利息は $50万円 \times 15\% \div 365 = (205) 円$

【「利息計算用プログラム」に以下の条件を入力し、利息と支払総額を記入しよう】

| 条件：月々支払額 | 金利(実質年率) | 元金分 | 利息分 | 返済総額 |
|-----------|----------|---------|---------|---------|
| 月々20,000円 | 金利 年15% | 500,000 | 102,987 | 602,987 |
| 月々20,000円 | 金利 年5% | 500,000 | 29,038 | 529,038 |
| 月々10,000円 | 金利 年15% | 500,000 | 289,075 | 789,075 |

<元金50万円のリボ払いの利息(元利均等返済)>



- ・金利や月々の（支払額）によって、支払総額は変わる。
- ・金利が（高い）と利息は多くなる。借りる期間が（長い）ほど利息は増える。
- ・お金を借りる時は（金利）が何%で、（支払総額）がいくらになるか確認することが大切である。

(2) 成年年齢引下げに対応した授業提案

※Web版読本「番外編」を活用した授業提案

- 題材名：経済生活を営む ● 実施科目：家庭基礎
- 題材の目標

- ・消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や契約の重要性，消費者保護の仕組みについて理解する。
- ・成年年齢が18歳になることから，未成年・成年の法律上の責任の違いについて理解する。
- ・消費者の権利と責任を自覚して，主体的に行動できる力を身につける。

| | 1 時間目 | 第2、3 時間 | 4 時間目 |
|------|--|---|---|
| 小題材名 | <ul style="list-style-type: none"> ・職業生活を設計する ・計画的に使う ・国民経済・国際経済と家庭の経済生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・現代の消費社会 (1) 契約と契約トラブル (2) 消費者をめぐる問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・消費行動と意思決定 ・これからの消費生活と環境 |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済的自立と職業について主体的に考える力を身につける。 ・経済社会の仕組みと家計との関係を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・成人になるまでに押さえておきたい「契約」「消費者信用」、「消費者保護制度」について理解する。 ・消費者問題について知り、適切な行動がとれるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・消費者には権利と責任があることを理解し、それに伴う各法律について知る。 ・消費行動における自らの意思決定と責任について理解する。 ・持続可能な社会にむけての消費行動について考える。 |

授業展開例④ 「契約と契約トラブル」

- 学習指導過程

※Web版読本「番外編」の説明 p10参照

| 時間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・資料 |
|--|--|--|--|
| 導入 10分 | 1.成人になると、何が変化するのか考える。 「成年年齢引下げクイズ」に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自由な発想でディスカッションできるように促す。 ・クイズを解説した後、18歳成人になると「一人で契約できる」ようになることを説明する。 | A3以上の大きな用紙（グループワーク用） Web1.18歳で成人になって、できること、できないこと 指導者用パワーポイント資料 ワークシート④ |
| <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> 「成人になる」までに押さえておきたい（契約）の基礎知識を理解する。 契約には、強い（拘束）力が発生することについて、考える。 </div> | | | |
| 展開Ⅰ 10分 | 2.契約の基礎知識を理解する。 「契約クイズ」に取り組む、ワークシートに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・クイズに挑戦させた後、契約の基礎知識を説明する。 ・契約はお互い対等で自由に決められることができるが、一度成立したら強い拘束力が発生することを理解させる。 | Web2.次のうち「契約」はどれ？ Web3.一度成立した契約の「拘束力」って？ 指導者用パワーポイント資料 ワークシート④ |
| 展開Ⅱ 25分 | 3.一度成立した契約の拘束力について考える。 「契約トラブルの事例」を基にグループでディスカッションする。 「契約の注意点」を整理する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事例を基に、今までの契約トラブルの事例と、その結果がどうなったのかを自由に話し合う。 ・自分の経験を通じて、いったん成立した契約はどちらか一方の都合でやめることができないことを確認する。 ・契約する前に十分に検討することの重要性に気付かせる。 | Web4.契約をやめられる場合とやめられない場合の違いは？ 指導者用パワーポイント資料 ワークシート④ |
| まとめ 5分 | 4.学習内容を振り返り、意見交換をする。 グループごとに、この授業を通して気付いたことや疑問点をワークシートに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一度成立した契約は強い拘束力があることを理解しているかどうか確認する。 ・次時は、「契約はどんな場合でもやめることができないのか」を考えると伝え、生徒の関心を高める。 | ワークシート④ |

ワークシート④ 「契約と契約トラブル」

年 組 名前

理解度✓

当てはまる番号に○を付けましょう。選択肢が数字の場合、知っている数で答えてください。

- 1. 18歳成人になると何が変化するか知っている。 (1.1つ 2.2つ 3.3つ 4.4つ 5.5つ以上)
- 2. 契約とは何か、説明できる。 (1.説明できる 2.説明できない)
- 3. 契約する際の注意点を知っている。 (1.1つ 2.2つ 3.3つ 4.4つ 5.5つ以上)

ねらい

「成人する」までに押さえておきたい（**契約**）の基礎知識を理解する。
 契約には、強い（**拘束**）力が発生することについて、考える。

1 「18歳で成人すると何が変化するか」を考え、ワークシートに記入しましょう。

（**権利**） 大人になるとできるようになること

（**責任**） 大人として果たすべきこと

例) お酒が飲める、たばこが吸える。(20歳) ※
 自分一人で何でも買える。
 自動車免許が取れる。
 選挙に行ける。
 親の承諾なしに、結婚できる。

例) 国民年金保険料を支払う。(20歳) ※
 働いて経済的に自立する。
 (罪を犯したら) 名前が公表され、刑罰を受ける。(20歳) ※

※生徒の自由な発想をイメージして赤字で加筆しているため、正解の解答ではないものもあります。

2 契約の基礎知識について（ ）に当てはまる用語を埋めましょう。

契約は、法的な（**拘束力**）が発生する約束事である。

契約の方式は（**自由**）で、（**口頭**）でも契約は成立する。

契約は、（**申し込み**）と（**承諾**）というお互いの（**意思表示**）が合致した時点で成立する。

一度成立した契約は、お互いに（**権利**）と（**義務**）が生じ、どちらか一方の都合でやめることが（**できない**）のが原則である。

3 事例を参考に、自分や周りの人が「契約をやめたい」と思った経験を話し合しましょう。

| 販売方法 | 購入した商品、価格など | やめたいと思った理由 | やめられたか。その時の状況など |
|----------|---------------------------|----------------------------------|---|
| 例) ネット通販 | チケット3枚 2万円 | 同じチケットだから | やめられない。ネットに「返品不可」と書いてあった。 |
| スーパー靴屋 | キャベツ 200円 スニーカー 8,000円 | キャベツとレタスを間違えた。家に帰ってみたらやっぱり似合わない。 | レシートを持っていったら、返品できた。レシートを持っていったが、返品できなかった。 |
| ネット通販 | ゲームアイテム 30万円 | 携帯電話料金と一緒に、30万円の請求が来て、親に怒られた。 | 消費生活センターに相談して、支払わなくてすんだ。 |

4 契約時の注意点について、まとめましょう。

| | |
|----------------------|----------------------------|
| 契約前に、本当に必要かどうか考える。 | 自分で支払える範囲の金額かどうか確認する。 |
| 契約前に、契約する内容を十分に確認する。 | 商品の値段、品質、表示をよく比較検討してから、選ぶ。 |
| 通信販売の場合、返品条件を確認する。 | 支払方法を確認して、自分に合った支払方法を選ぶ。 |

5 この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

| | |
|------|-----------------------------------|
| 設問例Ⅰ | この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？ |
| 設問例Ⅱ | 活動を通じて、気付いたことや、自分の考えが深まったことは何ですか？ |
| 設問例Ⅲ | 活動に向けて、調べたいと思ったこと、掘り下げたいことは何ですか？ |

授業展開例⑤ 「消費者をめぐる問題」

● 学習指導過程

※Web版読本「番外編」の説明 p10参照

| 時間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・資料 |
|------------|---|---|--|
| 導入 5分 | ●前時の復習をする。 | ・契約時の注意点について、理解度を確認する。 | |
| | 消費者問題について知り、なぜ消費者を（支援）する制度があるのかを理解する。 | | |
| 展開Ⅰ 20分 | 1.契約トラブルの寸劇に取り組み、どこが問題だったか考える。 事例を基に、契約をやめることができるのはどういう場合かグループでディスカッションする。 | ・契約トラブル事例（悪質商法）をロールプレイで体験し、事例のどこが問題だったか話し合わせる。 ・クーリング・オフ制度について伝える。 ・クーリング・オフの他にも、取消し、無効など契約を解除する制度について説明する。 ・前時の通信販売のトラブル事例と、今回のトラブル事例を比較して、契約をやめることができるのは、どういう場合か考えさせる。 | ロールプレイ 寸劇台本 「キャッチセールスにご用心」 Web4.契約をやめられる場合とやめられない場合の違いは？ 指導者用パワーポイント資料 ワークシート⑤ |
| 展開Ⅱ 20分 | 2.消費者保護の制度について理解する。 | ・民法の基本的な考え方は「お互い対等」であるが、実際には事業者と消費者の間には格差があり、格差を埋めるために消費者を支援する制度があることを説明する。 ・未成年・成年の法律上の責任の違い（未成年者取消権の有無）について説明する。 | Web5.消費者が一方向的に契約をやめることができる制度があるのはなぜ？ 指導者用パワーポイント資料 ワークシート⑤ |
| まとめ 5分 | 3.学習内容を振り返り、意見交換をする。 グループごとに、この授業を通して気付いたことや疑問点をワークシートに記入する。 | ・消費生活センターの窓口（188）を紹介する。 ・契約の知識について、授業の最初と最後に自分の理解度がどの程度変容したのかをワークシートで確認させる。 | ワークシート⑤ |

ワークシート⑤ 「消費者をめぐる問題」

年 組 名前

理解度✓

当てはまる番号に○を付けましょう。選択肢が数字の場合、知っている数で教えてください。

1. 契約をやめることができる制度を知っている。 (1.1つ 2.2つ 3.3つ 4.4つ 5.5つ以上)
2. 契約をやめることができる場合を説明できる。 (1.説明できる 2.説明できない)

ねらい

消費者問題について知り、なぜ消費者を（支援）する制度があるのかを理解する。

1 Web版読本「番外編4」を見て、事例のどこが問題だったのか考え、ワークシートに記入しましょう。

問題と思った点

どうすればよかったか

例) 「モデルにならないか」とスカウトされ、ついていった。
モデルとして芸能事務所に登録するには、プロフィールを作成するための写真撮影といくつかのレッスンを受ける必要があると言われた。
事業者から「クレジットで支払ってもよい。モデルの仕事を始めれば10万円なんてあっという間に取り返せる」と言われた。

例) 声をかけられてもついていかない。
本当に必要だったのかよく考える。
うまい話にのって、借金をしてまで契約しない。

2 契約をやめることができる制度について、（ ）に当てはまる用語を埋めましょう。

クーリング・オフとは、訪問販売などの（特定）の取引の場合、一定期間内であれば、（無条件）で契約をやめることができる制度である。

未成年者（取消し）とは、本人か、保護者が（申し出る）ことによって、契約をやめることができる制度である。

3 Web版読本「番外編4」の事例を比較して、契約をやめることができるのはどういう場合か話し合しましょう。

①スニーカー（店舗購入）②チケット（ネット購入）

例) ・いろいろな店や商品を比較できる状態、つまり冷静な判断ができる状態で、契約したからやめられない。

③キャッチセールス（訪問販売）

例) ・不意打ち的な状況で勧誘されて契約したからクーリング・オフができる。
・他の人の話を聞くこともできず、良い商品かどうか比較する時間がなかったので、冷静に判断できなかったからクーリング・オフができる。

4 消費者を保護する制度について、（ ）に当てはまる用語を埋めましょう。

契約の基本的な考え方は、契約する当事者同士が（対等）な関係であるが、実際には事業者と消費者の間には、構造的な（格差）が存在している。

その格差を是正するために、国は事業者を（規制）する法律や、消費者の（利益）を守る制度を設けている。

また、消費生活センターなどの行政機関を設置し、消費者を（支援）している。

5 この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 設問例Ⅰ | この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？ |
| 設問例Ⅱ | 活動を通じて、気付いたことや、自分の考えが深まったことは何ですか？ |
| 設問例Ⅲ | 活動に向けて、調べたいと思ったこと、掘り下げたいことは何ですか？ |

(3) 主体的・対話的で深い学びの授業提案

- 題材名：見えないお金の仕組みと機能を学ぶ
- 実施科目：家庭総合

- 題材の目標

- ・今日の家計は、クレジットカードや電子マネーの普及などキャッシュレス化によって大きく変化しており、情報が氾濫する中で慎重な意思決定が求められていることを具体的な事例を通して理解させる。

| | 1 時間目 | 2 時間目 | 3 時間目 |
|------|--|---|--|
| 小題材名 | キャッシュレス化による金銭管理 | クレジットカードと契約 | クレジットカードの支払方法とショッピング利用時の注意事項 |
| 目的 | ・日常生活で使われている様々な「お金の代わりにするカード」とその機能を知る。 | ・クレジットカードの仕組みと特徴を理解する。 ・契約の基礎知識を踏まえ、契約内容を理解し、規約を守ることの大切さを理解する。 | ・クレジットカードの支払方法の種類と特徴を知る。 ・リボ払いの利息計算から、計画的にクレジットカードを利用することの重要性を理解する。 |

授業展開例⑥ 「キャッシュレス化による金銭管理」

- 学習指導過程

| 時間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・資料 |
|------------|--|---|---|
| 導入 5分 | 1.グループワークの流れと、本時のねらいを確認する。 | (キャッシュレス) 化が急速に進む中、自分や家族が持っているカードの特徴を理解する。 | |
| 展開Ⅰ 15分 | 2.自分や家族の持っている「お金の代わりにするカード」を出し合い、カードに関する自分たちの知識、経験を伝え合う。 | ・お金の代わりにするカードやチラシ、広告などを見せ、急速にキャッシュレス化が進行している現状に気付かせる。 ・カードの使い方を話し合う中で、様々なカードの特徴に気付かせる。 | お金の代わりにするカードセット クレジット機能付きポイントカードのチラシ、広告（本物） ワークシート⑥ |
| 展開Ⅱ 15分 | 3.各グループに用意された紙にそれぞれのカードについての意見を書き込む。 全体で発表する。 | ・必ずしも正解・不正解を聞いているわけではないと助言し、自由な発言を促す。 | A3以上の大きな用紙（グループワーク用） |
| 展開Ⅲ 10分 | 4.お金の代わりにするカードの特徴と契約について学習する。 数種類のお金の代わりにするカードを前払い、即時払い、後払いに仕分けてみる。 | ・支払いに使用できるカードの機能を説明し、「カードを持つためには各社と会員契約を結ぶ必要がある」ことを説明する。 | A3以上の大きい紙（グループワーク用） お金の代わりにするカードのフリップ ワークシート⑥ |
| まとめ 5分 | 5.学習内容を振り返り、意見交換をする。 グループごとに、この授業を通して気付いたことや疑問点をワークシートに記入する。 | ・次週はクレジットカードについてWeb版読本で学習することを予告し、生徒の興味関心を高める。 | ワークシート⑥ |

ワークシート⑧ 「キャッシュレス化による金銭管理」

年 組 名

ねらい

(**キャッシュレス**) 化が急速に進む中、自分や家族が持っているカードの特徴を理解する。

1 自分や家族の持っている「お金の代わりにするカード」を出し合ひましょう。どんなカードを使って商品やサービスを購入しているか話し合ってください。

| ICUCA | Qunカード | LIME PAY |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・電車に乗る。 ・おサイフケータイなのでICカードではない。 ・駅でチャージする。 ・売店でお菓子を買う。 ・自動販売機でお茶を買う。 ・コンビニでチャージをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアで食べ物を買う。 ・景品などでもらうことが多い。 ・使い切ったら終わり（何度もチャージできない）。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ネットショッピングで音楽やゲームを買う。 ・チャージがコンビニに行かなければいけないので面倒。 ・チャージは銀行口座から引き落としにした。 |

2 「お金の代わりにするカード」について思ったことを話し合ひましょう。現金と比較してどのような違いがあるかについても考えてください。

- ・カッコいい。 ・お金はなくなったら戻らないけど、カードならストップすることができる。
- ・ポイントやマイルがたまってお得。 ・何でも買える魔法のようなカード。
- ・ネットショッピングで使える。買いやすい。ショッピングし放題。 ・身分証明になる。
- ・現金と違って身軽。小銭が増えない。

3 お金の代わりにするカードを前払い、即時払い、後払いに分類してみましょう。

| 支払時期 | カードの機能 | 主なカード |
|-----------------------------|---|-------|
| 前払い (プリペイド) カード | 事前にカードに入金された金額の範囲で買い物などに利用する。 | |
| 即時払い (デビット) カード | カード利用と同時に銀行の預金から買い物代金が引き落とされる。 | |
| 後払い (クレジット) カード | カードを提示することで、買い物などに使用する。後日、銀行の預金から買い物代金が引き落とされる。 | |

4 この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

設問例Ⅰ この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

- ・現金以外の支払方法（電子マネー、クレジットカードなど）が多様化する中、「お金の代わりにするカード」を使って、現金との違いを理解した。
- ・キャッシュレス化が進む中で、お金の代わりにする様々なカードの特徴を理解し、自分はどうのように金銭管理を行ったらよいか考えた。 など

付録の「お金の代わりにするカード」を使い、自分や家族が持っているカードを想起させ、自由な意見を引き出すことにより、キャッシュレス化が生徒の生活の中でどの程度浸透しているのか把握することができます。

現時点で生徒がどのようなことを知っているのか、気付きを多く引き出します。正解・不正解を求めるのではなく、実生活で役立てたいと思えるように、自由な意見を促します。

付録の「お金の代わりにするカード」のフリップにマグネットを付ければ、黒板やホワイトボードに張って、支払いに使用できるカードの機能を説明することもできます。


「カードを持つためには各社と会員契約を結ぶ必要がある」ことを確認します。

設問例Ⅱ 活動を通じて、気付いたことや、自分の考えが深まったことは何ですか？

- ・友だちが持っているお金の代わりにするカードの中には、自分が知らないカードもあった。また、これまでは、親がチャージしてくれた前払いのカードを使っていたが、今日の授業で、即時払い、後払いできるカードがあるということも知った。

設問例Ⅲ 活動に向けて、調べたいと思ったこと、掘り下げたいことは何ですか？

- ・友人が持っているカードは、〇〇コンビニで買い物すると、ポイントが付くという。どうしてそのような特典が付くのだろうか。 など



考えるポイントを習熟度別にした問いを用意しました。Ⅰの問いに回答できた生徒にはⅡを問いかけ、理解度を確認し合いながら考えを深められるように促します。

| | |
|---|--|
| Ⅰ | <input type="checkbox"/> 基本事項のキーワードを押さえ、授業のねらいである「カードの特徴」を理解する。 |
| Ⅱ | <input type="checkbox"/> 授業のねらいである「カードの特徴」を理解する。 <input type="checkbox"/> 自分の生活体験と授業内容を関連付けて、言葉で説明することができる。 |
| Ⅲ | <input type="checkbox"/> 「カードの特徴」について理解するだけでなく、新たな疑問や課題を自分で見つけ、探求しようとする。 |

授業展開例⑦ 「クレジットカードと契約」

※Web版読本ステージ1を活用した授業提案

● 学習指導過程

| 時間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・資料 |
|------------|---|---|--|
| 導入 5分 | 1.前時の学習を振り返り、本時のねらいを確認する。 オープニングを見て、Webの使い方を確認する。 | ・前時の話し合いを思い出させる。 (クレジット) 契約の仕組みを理解し、契約のルールを守ることの大切さに気付く。 | ワークシート⑦ |
| 展開Ⅰ 25分 | 2.Web版読本で「クレジットカードを作成する場面」を疑似体験する。 3.Web版読本で「クレジットカードの仕組み」を視聴する。 | ・契約の基礎知識を伝える。 ・前時の授業から、クレジットカードを利用する機会が増えていることを共感させ、クレジットカードのメリットを確認させる。 ・クレジットカードが発行されるまでの流れとクレジットカードの仕組みについて理解させる。 ・クレジットカードを利用する場合、クレジット会社に借金をして商品等を購入することになるため、経済的に信用のある人だけがクレジットカードを持てることを伝える。 ・三者間契約の仕組みを説明し、生徒の理解度を確認する。 | ワークシート⑦ 前時で使用したワークシート Web項目 ①クレジットカードの作成疑似体験 ②契約の基礎知識と販売方法の多様化 ③カードの種類と支払方法 ④クレジットカードのメリット Web項目 ⑤クレジットカードの仕組み ワークシート⑦ ・消費者、販売店、クレジット会社のフリップ |
| 展開Ⅱ 15分 | 4.Web版読本で「クレジットカード〇×クイズ」に挑戦する。 5.Web版読本で「クレジットカード申込書」を確認する。 | ・クイズは、何となく〇、×で答えるのではなく、「会員規約」の画面から情報を集め、理由も述べて答えるように指示する。 ・契約＝会員規約の内容を守ることの大切さについて理解させる。 ・クレジットカードの申込用紙を見せ、氏名や電話番号のほかにも、収入や借入れなどの個人情報を記入する項目があること、正しい内容を記入しなければならないことを確認させる。 | Web項目 ⑥クレジットカード〇×クイズ ワークシート⑦ クレジットカードの申込書（本物） Web項目 クレジットカード申込書 |
| まとめ 5分 | 6.学習内容を振り返り、気付いたことをワークシートに記入する。 | ・本時の学習内容を振り返り、次週へのつなぎとして、「消費者」だけでなく、「販売店」「クレジット会社」のメリットについて考えさせる。 | ワークシート⑦ |

ワークシート⑦ 「クレジットカードと契約」

年 組 名

ねらい (**クレジット**) 契約の仕組みを理解し、契約のルールを守ることの大切さに気付く。

1 当てはまる用語を () に埋めましょう。

契約とは、法的な (**拘束力**) が発生する約束事のことである。

契約は、(**申し込み**) と (**承諾**) というお互いの (**意思表示**) が合致した時点で成立する。

契約の方式は自由で、(**口頭**) でも成立する。

2 どんな状況でクレジットカードを使うか考え、なぜクレジットカードを使うと便利なのか、理由を書きましょう。

解答例

- ・ (**現金**) を持っていないでも買い物ができる。
- ・ (**分割して**) 支払うことができる。
- ・ (**後で**) 支払うことができる。
- ・ (**海外**) でも買い物ができる。

3 当てはまる用語を () に埋めましょう。

クレジットカードが発行されるまで

クレジットカードの仕組み

4 クレジットカード〇×クイズのヒントを会員規約から探して、理由とともに答えましょう。

第1問：収入があればだれでもクレジットカードを持つことができる。 答え (×)

理由：クレジットカードの入会申請をした個人のうち、クレジットカード会社が入会を認めた信用のある人しかクレジットカードを持つことができないから。

第2問：クレジットカードの所有権は、クレジットカード会社にある。 答え (○)

理由：「クレジットカードの所有権はクレジットカード会社にある」、「会員に貸与する」と規約に書かれているから。

第3問：暗証番号は4桁の数字であれば何でも構わない。 答え (×)

理由：暗証番号は他人に推測されないような数字を設定して、だれにも教えてはいけなくと規約で決まっているから。

5 この時間を振り返り、意見交換をしましょう。

設問例Ⅰ この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

- ・クレジットカードでの買い物は三者間契約で、クレジットカード会社に借金をして商品を買う仕組みであることが理解できた。
- ・クレジットカードを使って買い物をする時も、契約のルールを守る必要があることを学んだ。

設問例Ⅱ 活動を通じて、気づいたことや、自分の考えが深まったことは何ですか？

- ・クレジットカードは後払いできるから楽だと思っていたが、クレジットカード会社に借金をして商品を購入する仕組みだと知った。クレジットカードの仕組みを理解しないと、借金が返せなくなったり、トラブルに巻き込まれたりする。
- ・クレジットカードの所有権は自分にあると思っていた。「クレジットカードはクレジットカード会社からの借りものだ」という意識を持ち、適切に管理しなければならない。
- ・普段は、自分がひと月にいくら使っているか意識していない。クレジットカードを使うためには、計画的にお金の管理ができるようにならないといけない。

設問例Ⅲ 活動に向けて、調べたいと思ったこと、掘り下げたいことは何ですか？

- ・大学生の兄は、クレジットカードを出さないと、スマホをタッチするだけで簡単に買い物している。自分も大学生になったら使ってみたくて、どのような仕組みになっているのか、知りたい。
- ・近所のスーパーが「クレジットカードで支払うとポイントが貯まってお得」と勧めていた。お店側のメリットは何か。野菜や肉はいつもそのお店で買っているのだから、本当に得するのか知りたい。

WEB 読本 全員で一緒にオープニングを見て、Web版読本の使い方を確認します。

付録のフリップ（消費者、販売店）を黒板に張って契約の基礎知識（二者間契約）の説明をします。後半、三者間契約との違いを強調するのに効果的です。

WEB 読本 ④クレジットカードのメリットまで視聴するように指示します。2～3人で1台のパソコンを使い、話し合いながらワークシートを埋めていくのも効果的です。

WEB 読本 ⑤クレジットカードの仕組みまで視聴し、ワークシートに記入するよう指示します。

黒板に張ってあるフリップ（消費者、販売店）にクレジットカード会社を追加し、三者間契約の仕組みを再度説明します。フリップを使うと短時間でも何度も確認することができ、契約の基礎知識が身に付きます。

WEB 読本 ⑥クレジットカード〇×クイズに挑戦し、ワークシートに記入するよう指示します。

「大人になる」とは、「一人で有効な契約ができる」ことであることに気付かせ、会員規約の内容をよく理解してから、慎重に申し込むように伝えます。

クレジットカードに対して恐怖心を与えるのではなく、賢く使えば便利なものであること、興味関心を持たせることが大切です。

WEB 読本 クレジットカード申込書で記入項目を確認するよう指示します。



考えるポイントを習熟度別に用意しました。設問例Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの考え方の違いについては、P25を参照してください。

授業展開例⑧ 「クレジットカードの支払方法とショッピング利用時の注意事項」

● 学習指導過程

| 時間 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・資料 |
|------------|--|--|---|
| 導入 5分 | 1. 前時の学習を振り返り、本時のねらいを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> 三者間契約の仕組みを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> 消費者、販売店、クレジット会社のフリップ |
| 展開Ⅰ 15分 | 2. クレジットカードの主な支払方法をワークシートに記入する。 3. 利息計算に必要な用語と利息の計算方法をワークシートに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> 分割払い、リボ払いの違いを説明し、支払終了時期と、支払総額に着目することを伝える。 利息の計算方法の基礎知識を押さえる。 購入金額が同じでも、毎月の支払額や金利の違いによって、どのくらい利息が変わるか実感させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 指導者用パワーポイント資料 クレジットカード申込書、規約（本物）ワークシート⑧ 指導者用パワーポイント資料ワークシート⑧ |
| 展開Ⅱ 20分 | 4. クレジットカードを使う際の注意点について意見交換する。 いろいろなクレジットカードの申込書、会員規約を比較して、気付いたことをグループディスカッションする。 | <ul style="list-style-type: none"> 「消費者」「販売店」「クレジット会社」それぞれのメリットについて考えさせる。 戸惑っている班には、会員規約の文字の大きさ、支払方法、手数料などを確認させる。 会員規約の条件に基づき、手数料や支払総額を利息計算用プログラムでシミュレーションをするように促す。 | <ul style="list-style-type: none"> 消費者、販売店、クレジット会社のフリップ A3の用紙 クレジットカードの申込書、規約（本物）、広告（本物） 利息計算プログラム※ |
| まとめ 10分 | 5. 学習内容を振り返り、今後の生活にどのように生かすか考える。 | <ul style="list-style-type: none"> クレジットカードの特徴や正しい使い方を理解しておく意義をまとめる。 キャッシュレス化の現状や企業の取り組み、成年年齢下げなどを新聞記事などで紹介し、生徒の関心を高める。 | ワークシート⑧ |

※利息計算用プログラムの紹介

利息計算ができない場合でも大丈夫です！
付録教材を使って、購入金額、金利、毎月の支払額を入力すると、分割払い、リボ払いともに、支払総額と支払回数が自動的に計算できます。



操作手順の説明通りに①②③④を入力すると、計算結果と同時に、グラフが作成されます。

ワークシート⑧「クレジットカードの支払方法とショッピング利用時の注意事項」

年 組 名

ねらい

クレジットカードの支払方法を理解し、利用上の注意と、（計画）的に利用することの大切さについて、考える。

1 当てはまる用語を（ ）に埋めましょう。

- ・クレジットカードの支払方法は主に（3）通りある。
- ・（分割）払い、（リボ）払いなど、分割して代金を支払う場合は手数料がかかる。
- ・手数料とは（利息）のことで、お金のレンタル料である。

| 種類 | 支払方法 | 手数料 |
|--------------------------|--------------------|-------|
| 一括払い | 1回払い、ボーナス1回払いなど | かからない |
| 分割払い | 購入のつど（支払回数）を決めて支払う | （かかる） |
| リボルビング払い （「リボ」払いともいう） | 毎月（一定額）・（一定率）で支払う | （かかる） |

2 50万円を年利15%で借りるとき、次の期間の利息を計算しましょう。

- ・利息の計算方法は $\text{元金} \times \text{金利} \times \text{期間}$
- ① 1年後に支払う利息は $50\text{万円} \times 15\% \times 1\text{年} = (75,000)$ 円
- ② 1か月後に支払う利息は $50\text{万円} \times 15\% \times \frac{1}{12} \times 1\text{月} = (6,250)$ 円
- ③ 1日後に支払う利息は $50\text{万円} \times 15\% \times \frac{1}{365} \times 1\text{日} = (205)$ 円

※元金とは（借った）お金、金利とは元金に対する一定期間の（利息）の割合。

3 クレジットカードの申込書、会員規約、広告を比較して、気付いたことを記入しましょう。

- ・クレジットカードの申込書に金利が書いてあるが、各社によって違うことに気付いた。
- ・リボ払いの計算をしたら、金利が高いと利息も多くなることに気付いた。
- ・ポイントがお得と思っていたが、リボ払いの手数料のほうが高いことに気付いた。

4 この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

設問例Ⅰ この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

- ・リボ払いは1回の支払金額が少ないので、高額なものでも買いやすい。しかし、商品を一括払いで購入する場合と異なり手数料がかかり、支払総額は大きくなる。
- ・分割払いやリボ払いで大きな買い物をする時、金利が数%変わっただけで利息が増え、返済するのが難しくなる場合がある。

設問例Ⅱ 活動を通じて、気づいたことや、自分の考えが深まったことは何ですか？

- ・高校を卒業したら、よく行くお店のクレジットカードを作って、カード会員の特典を利用したいと考えていた。しかし、クレジットカードの仕組みを学んで、お店側のメリットについても考えられるようになった。実際に作る時は、他のクレジットカードとの違いも比較して選びたい。

設問例Ⅲ 活動に向けて、調べたいと思ったこと、掘り下げたいことは何ですか？

- ・リボ払いを利用すると、返済がいつ終わるのかわからない状況になったり、支払総額が予想以上に大きくなったりすることがある。クレジットカードでリボ払いにする時は、計画を立てて利用しなければならないことを学んだ。お店の人の言うことやパンフレットにある宣伝に振り回されないようにしたい。
- ・大学生になったら、海外旅行をしたい。クレジットカードを使えば分割払いできるので、すぐに行けると思っていたが、手数料がかかり、支払総額も大きくなる。お金を貯めてからにするなど、よく考えて決めないといけない。
- ・支払方法をリボ払いにすると、ポイントが増えてお得になることがある。リボ払いは、月々返済しやすい金額で買い物できるが、支払総額が増えるので、ポイントがたくさんついて、実際は販売会社やクレジット会社のメリットの方が大きいのではないかと。クレジットカードを使わなければ買い物できないような場合は、その買い物が必要なのかどうか考えたい。

付録のフリップ（消費者、販売店、クレジット会社）を黒板に張り付け、前時の復習をし、今日のねらいを話します。三者のそれぞれのメリットを強調するのに効果的です。

WEB
読本

教材のパワーポイント資料で、クレジットカードの支払方法について説明します。Web版読本ステージ2を閲覧させながらワークシートに記入することも可能です。

WEB
読本

教材のパワーポイント資料で、利息の計算方法について説明します。Web版読本ステージ3を閲覧させながらワークシートに記入することも可能です。

黒板の三者間契約の図を再度紹介し、「消費者」「販売店」「クレジット会社」のそれぞれのメリットについて考えるように促します。

- ・戸惑っているグループには、会員規約の文字の大きさ、支払方法、手数料などを確認させるとよいでしょう。
- ・会員規約の条件に基づいた手数料や支払総額を利息計算プログラムでシミュレーションをするのも効果的です。

WEB
読本

利息計算プログラムを用いると利息の計算が簡単にできます。



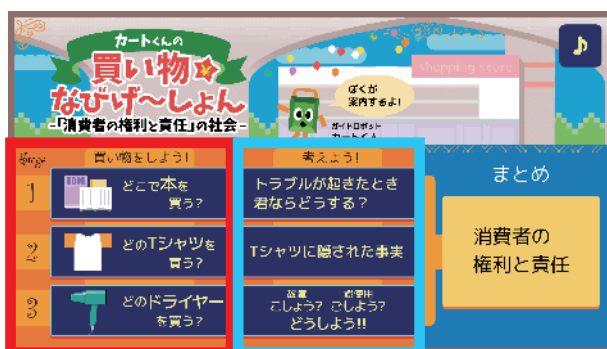
考えるポイントを習熟度別に用意しました。設問例Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの考え方の違いについては、P25を参照してください。

Web版消費者教育読本【中学生向け】

高校生の学習にも利用可能です。

カートくんの買い物☆なびげ～しょん -「消費者の権利と責任」の社会-

「時間がないから1ステージだけ」、
「必要な内容をまとめた前半だけ」、
「消費者の権利と責任に絞ってまとめだけ」、
など、それぞれの先生の授業計画に合わせて、
必要な場面だけを使った授業が可能です！



期待される3つの効果

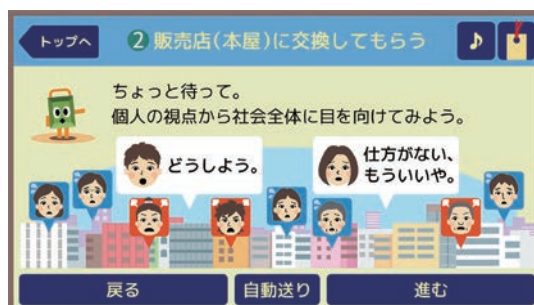
- ① 買い物の疑似体験を通して、商品を選択する力を養う
- ② 消費者の権利と責任の考え方を身に付ける
- ③ 批判的思考力が養える

楽しく学べる買い物体験!

深く考える発展ステージ!!



ステージ1「どこで本を買う?」



ステージ2「トラブルが起きたとき、君ならどうする?」

▶ 東京くらしWEB https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/manabitai/kyouiku_web/



消費者教育読本作成検討委員会委員（平成26年度及び平成30年度）

小野 由美子 東京家政学院大学准教授 (座長)
高木 篤夫 弁護士 (平成26年度委員)
平澤 慎一 弁護士 (平成30年度委員)
野村 知世 東京都立永山高等学校 主幹教諭
金清 順子 国際基督教大学高等学校 講師 (平成30年度委員)
永井 愛 教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事

編集・発行 東京都消費生活総合センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ16階

Tel 03-3235-1157 Fax 03-3235-1505

デザイン 株式会社セルコ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-5-2

Tel 03-3409-8923

平成26(2014)年3月初版第1刷発行

平成31(2019)年3月第2版第1刷発行